



令和5年度 深谷市独自の3段階調査（第3弾） ～ 教育と福祉との強いスクラム～

深谷市独自の3段階調査

小6・1121人（回答率94%）
中1・1006人（回答率90%）

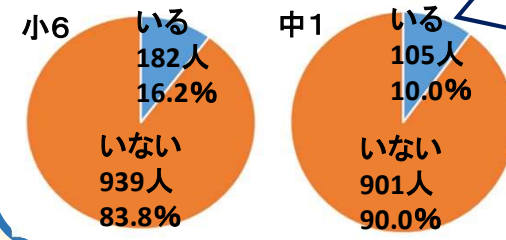
第1段階 アンケート調査の実施

- 市内公立小中学校29校
小学校6年生・中学校1年生を対象（中学校2・3年生は令和3、4年度実施済）
- 令和5年7月14日（金）～19日（水）に、一人一台タブレットからFormsによるアンケートへの回答
- 学校や家庭での生活の状況、家族の世話の有無、など

第1段階の分析

第1段階 分析結果

世話をしている家族がいるか？



- 世話をしている頻度は「ほぼ毎日」が小6が74人、中1が34人【複数回答】
- 「世話をすることに負担がある生徒」は小6が85人、中1が29人
- 「やりたいことができない生徒」は小6が61人、中1が26人
- 学校や周りの大人に助けてほしい生徒は小6が85人、中1が40人

第1段階の結果を踏まえて



小6・182人
中1・105人をチェック

第2段階 担任によるチェック(アセスメントシート)

担任が、アンケート調査の結果を受けて、気になる生徒の学校生活の様子等を評価シートを用いて個別にチェック

第2・3段階の分析

第2・3段階 分析結果

- 幼いきょうだいに料理を毎日つくるなど、家事をほとんど行っている。
- 祖父母や母に障害があり、身体的な介護を行っている。
- 障害のあるきょうだいのお世話をしている。

第1・2段階の結果を踏まえて



小6・89人
中1・47人に実施

第3段階 個別の聞き取り調査

（担任、部活動の顧問・スクールカウンセラー等）

本人が行っている具体的なケアの状況
本人が抱えている悩みや不安など、
児童・生徒の気持ちに寄り添った直接の聞き取り調査



ヤングケアラーの可能性が高い児童・生徒
小6・8人(0.7%) 中1・5人(0.5%)

強いスクラム！

関係7課所等による協議により支援へ